

# カ　ワ　セ　ミ

Alcedo atthis



種名

分類

ブッポウソウ目カワセミ科

特徴

コバルト色の背と橙色の下面を持った、くちばしの美しい小さな鳥。主にユーラシア大陸の熱帯から温帯で広く繁殖し、日本でも全国に分布し繁殖する。冬期、北方のものは暖地に移動する。

生活

平地から山地の川、池、湖などの水辺に棲息し、単独又はつがいで見られる。川ではヤマセミより下流に棲息するが、一部棲息地が異なる。海辺で見られることもある。採餌行動はヤマセミとよく似ており、水中にダイビングして魚を捕まえる。繁殖期にはつがいで縄張りを持ち、オスはメスに求愛給餌する。産卵期は3～8月で、卵数は4～7個、抱卵日数は19～21日位。

声

川面を「チー」とか「ツチーイ」という鋭い声を出して飛ぶことが多い。また、飛び立つときにも鳴くがいつも2、3声鳴くだけである。繁殖期には木の枝にとまって「チチイ」と小声でオスとメスが鳴き交わすことがある。雛の「ジャジャジャ」と聞かれるがセミの声に似るので、本種の名前がつけられたという。

見分け方

上面は緑色、下面は橙色で、他の種類と見間違うことはない。メスでは下くちばしが赤い。

時期：寒地

(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---

：暖地

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

その他

全長(L)17cm 翼開長(W)25cm

参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥

カワセミ